

令和6年度 事務事業評価シート（1）

[令和5年度事務事業]

一般会計		事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	さかいチャイルドサポーター育成事業	事業番号	014-003
担当部署名	子ども青少年 局 子ども青少年育成 部 子ども企画 課		

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(1) 妊娠から学齢期まで切れ目のない子育て支援の充実
		寄与するKPI	有	取組の方向性	②多様で質の高い幼児教育・保育サービスの提供		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—	目標値	—
		寄与するKPI	有	取組	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.2

2	関連計画	堺市子ども・子育て総合プラン		
3	事業開始年度	平成 27 年度	点検対象年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	子育て支援員研修事業実施要綱		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁		
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	育児経験や職業経験など多様な経験を有し、地域において子育て支援の仕事に関心を持ち、子育て支援分野の職務に従事することを希望する者及び現に従事する者。	対象数	単位
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	子育て支援員研修の受講修了者を増やすことで、子育て支援の担い手を確保する。	-	-
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<p>子育て支援の仕事に関心を持ち、子育て支援分野の事業に従事する方及び従事を希望する方に、子育て支援分野に従事する人材の確保等を目的として国が定めるカリキュラムに沿った研修等を実施し、事業内容に応じた必要な知識や技能を習得していただく。</p> <p>研修受講修了者に対しては、修了証書を交付する。</p> <p>【研修コース】</p> <p>①地域型（小規模・家庭的・事業所内）保育事業 年1回</p> <p>②一時預かり事業 年1回</p> <p>③子育て援助活動支援事業 ファミリー・サポート・センターの提供会員 年2回</p> <p>④地域子育て支援拠点事業 年1回</p> <p>⑤子育てアドバイザー 年1回</p>		
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載			
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	株式会社ポピンズプロフェッショナル		
10	公民連携・協働事業			

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標
			令和4年度	令和5年度	令和6年度	点検対象年度 令和7年度
11 さかいチャイルドサポーター研修 修了証書交付人数	人	目標値	160	180	200	160
		実績値	148	106		
		達成率	93%	59%		
当該指標を選定した理由		子育て支援の担い手を増やすことで、子育て施策の充実を図るため。				
目標値の設定根拠・算出方法		対象年度の募集人数を目標値とする。(各コースのニーズ及び昨年度の実績等から算出)				
12 研修事業に係る情報発信回数	回	目標値	12	10	10	
		実績値	8	8		
		達成率	67%	80%		
当該指標を選定した理由		担い手を増やすには、本研修を認知してもらう必要があるため。				
目標値の設定根拠・算出方法		広報さかい、市HP、SNS等、各種媒体を活用した情報発信回数を目標値とする。				

令和6年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	さかいチャイルドサポーター育成事業	事業番号	014-003
-------	-------------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度		令和6年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	4,803	4,779	7,373	4,774	6,149
13 財源内訳					
国支出金	2,309	2,297	3,345	2,294	2,722
府支出金			0		0
市債			0		0
その他 ()			0		0
受益者負担金(使用料、手数料等)			0		0
一般財源	2,494	2,482	4,028	2,480	3,427
14 人件費 (b)	2,460	2,460	2,430	2,430	2,430
15 年間経費(c)=(a)+(b)	7,263	7,239	9,803	7,204	8,579

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
					R5	R6		
16 事業費内訳	委託料	R5 決算	4,774	2,480		R5	決算	
		R6 予算	6,149	3,427		R6	予算	
		R5 決算				R5	決算	
		R6 予算				R6	予算	
		R5 決算				R5	決算	
		R6 予算				R6	予算	
		R5 決算				R5	決算	
		R6 予算				R6	予算	
		R5 決算				R5	決算	
		R6 予算				R6	予算	

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和4年度	令和5年度
17 ① 研修修了証書交付人数	人	148	106
② 上記①にかかる年間経費	千円	7,239	7,204
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	48,912	67,962
備考 (算出についての説明等)			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 研修修了証書交付人数が前年度に比べ、減少したことから単位当たりの経費は増加となった。その原因として、研修修了に要する日数が多いことや研修日程が固定化されていることなどの影響により、今回は修了できた方が少なかったものと考えているが、子育て支援の担い手は一定数増やすことができたと考えている。
研修は、国が定めるカリキュラムを実施する必要があるため、やむを得ない部分があるものの、今後も引き続き受講日程に柔軟性を持たせるなど、受講者の負担軽減を図っていく。

KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19 毎年度本事業を実施することで、子育て支援の担い手を増やし、子育て支援分野に関して必要となる知識、技能等を提供できていることから、子育て支援の充実、安全安心で質の高い幼児教育・保育の提供を行うことができている。
今後もニーズに応じ、研修体系を見直す等、費用対効果を意識したうえで研修の実施を図る。